

同志社大学

新島塾

を覗いて

みませんか。



「合宿で鍛える知的基礎体力」

学部 1 年次生 体験参加 募集

[期 間]

2022 年 9 月 2 日 (金) ~ 9 月 5 日 (月)

[会 場]

滋賀県大津市北小松 179

同志社びわこリトリートセンター

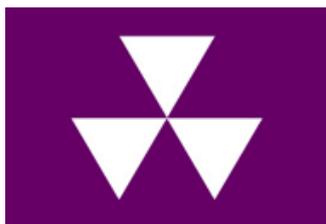


同志社大学新島塾 合宿で鍛える知的基礎体力

[新島塾とは]

同志社大学は、我が校の門をくぐった皆さんが、校祖新島の精神を継承し、リーダーシップとフォロアーシップを兼ね備えた人材として社会の様々な分野で活躍されることを願い、「同志社大学新島塾」を2019年度に開塾しました。

新島塾では、正課の授業での学習に留まらず、学ぶ意欲と能力を可能な限り伸ばしたいと考える学部2年次・3年次生が新島塾塾生として、学部の垣根を越え共に切磋琢磨しています。



皆さんは、同志社の徽章の由来をご存知ですか。正三角形を3つ寄せたこのマークは、国あるいは土を意味するアッシリア文字『ムツウ』を図案化したものです。考案者の湯浅半月は、同志社が生んだ詩人（代表作『十二の石塚』）であり古代オリエント学者でもありました。制定された当時、半月は同志社神学校教授でした。制定以来、知・徳・体の三位一体あるいは調和を目指す同志社の教育理念をあらわすものと解釈されています。

新島塾は、知識や技法の伝達だけではなく、人間的信頼関係を構築する同志社大学の教育的伝統に基づき、「書を読み、友人や先生と語り、仲間と協働する価値を学ぶ」をコンセプトに据え、多彩な講師陣により、次の3つのオリジナルプログラムを実施しています。

1. 「読書から始まる知の探究」

春期、秋期、冬期に課題図書を読み、あらかじめ指定された読書後の活動（課題図書のテーマに関するディベートやフィールドワーク等）を通して取り上げられる問題を考察、探究し、幅広い教養や論理的思考力の獲得、社会的視野の拡大と意欲の醸成、豊かな感性を育みます。

2. 「合宿で鍛える知的基礎体力」

日常生活から離れて塾生や講師と時間・空間を共有して語り、仲間と協働する価値を学ぶことに集中します。事前に合宿のテーマに関連する課題図書を読み込み、合宿中は担当教員による講義の受講と確認小テストを繰り返します。また、事後レポートの作成や討論によって、専門分野に留まらない学知の必要性を思い知るとともに、複雑な社会情勢を読み解くための基礎力を培います。

3. 「リーダーに学ぶ徳力の涵養」

各界のリーダーを招いてあらかじめ設定したテーマに関して対話・討論し、人生の岐路となった経験、リーダーとして下した重大な決断、対面した危機や困難をどのように克服して乗り越えたか等を知り、その思考や規範を学び、ロールモデルを発見します。

今回、体験参加を募集するプログラムは 2. 「合宿で鍛える知的基礎体力」です。

[合宿の目的]

同志社大学新島塾は、必修プログラム「合宿で鍛える知的基礎体力」として 3 泊 4 日の集中講義を同志社びわこリトリートセンターで行います。

合宿では、塾生が社会を支える世代となり、様々な分野で指導的立場におかれているであろう 2040 年頃の時代でも通用する普遍的な学力は何かを知り、それをいかに獲得すればよいかを学びます。

2022 年度合宿のテーマは、「戦争と平和、戦争と教育」です。戦争はなぜ起こり、その背景には何があるのか。ある事象をひとつの視点だけではなく、別の視点から見ると、これまでとは全く別の見え方をすることがあります。その事象が複雑であるほど、様々な角度から捉えることが重要重要です。そうすることで、事象を客観的に捉えることができるとともにその本質が浮かび上がってきます。合宿では、このような思考の訓練を行います。今年度の合宿は、臨床心理学者で臨床心理士、公認心理師の東畑開人先生と生命医科学部特別客員教授の渡辺政隆先生を講師にお招きします。参加者はこの合宿で「戦争は何をもたらすのか」「戦争は心にどのような影響を及ぼすか」「戦争と科学、技術の関係性」など、文系・理系の特定分野に偏ることなく幅広く学びます。一見すると別のテーマである事柄が、実は相互に関連していることに気付き、なぜ学問と向き合い探究することが重要なのか十分に理解します。そして、学知の基礎をどのように獲得するのか具体的な学習方法を身に付けます。

[合宿で鍛える知的基礎体力 講師陣]

- 植木 朝子 文学部教授、新島塾塾長、同志社大学長
佐藤 優 神学部客員教授、作家、元外交官
東畑 開人 臨床心理士、公認心理師、白金高輪カウンセリングルーム主宰、
慶応義塾大学大学院社会学研究科訪問准教授
渡辺 政隆 生命医科学部特別客員教授、翻訳家、サイエンスライター、
日本サイエンスコミュニケーション協会会長
多久和英樹 理工学部教授
後藤 琢也 理工学部教授、学長補佐

[合宿の日程] タイムテーブルは 7 ページを参照してください。

2022 年 9 月 2 日(金) 12:00 ~ 9 月 5 日(火) 15:00 終了予定

[体験参加の募集]

学部 1 年次生を対象に「同志社大学新島塾 合宿で鍛える知的基礎体力」の体験参加者を募集します。

新島塾のプログラムに参加した学部 1 年次生が、新島塾塾生の切磋琢磨する姿に刺激を受け、同志社大学新島塾への関心や意欲を高め、次年度に塾生として新島塾の門を叩くことを期待しています。意欲溢れる学部 1 年次生のみなさんの応募をお待ちしています。

[募集期間と応募方法]

2022 年 7 月 8 日(金) ~ 7 月 25 日(月) 15:00 まで

Microsoft Forms に必要事項を入力してください。



[会場]

〒520-0501 滋賀県大津市北小松 179 同志社びわこリトリートセンター

<https://www.doshisha.ac.jp/retreat/access/access.html>

京都駅より JR 湖西線 北小松駅まで普通電車で約 45 分、新快速で約 35 分
北小松駅下車後、びわこリトリートセンターまではシャトルバスで送迎します。

[課題図書]

1. 和田洋一『灰色のユーモア—私の昭和史』、人文書院、2018 年
2. 佐藤優『学生を戦地へ送るには—一田辺元「悪魔の京大講義」を読む—』、新潮社、2017 年
3. 東畑開人『居るのはつらいよ ケアとセラピーについての覚書』、医学書院、2019 年
4. 東畑開人『なんでも見つかる夜に、ここだけがみつからない』、新潮社、2022 年
5. 数学セミナー編集部編『数学 100 の発見』、日本評論社、1998 年
6. 渡辺政隆『ダーウィンの遺産』、岩波書店、2015 年

[参考図書] (読むことを推奨する)

- 芳沢光雄『新体系・高校数学の教科書 上・下』、講談社ブルーバックス、2010 年

[合宿の進め方]

1) セッション 1 塾長講演

合宿を実施する目的や、新島塾生に寄せられている期待、求められるリーダーシップ像とはどのようなものなのか。塾生は、いまの塾長の考えや想いを直接聞くだけでなく、後半には塾長や佐藤先生と直接対話、討議を行います。塾生は、「自分はなぜ新島塾で学び、何のために合宿に参加しているのか、この合宿で何を得るのか」その意義と目的を再確認し、参画意識を高めます。

このセッションは、講演会でも和気あいあいとした雰囲気づくりを行うためのイントロダクションでもありません。参加者として、互いに協力しつつ積極的にこの合宿に挑むための意識づけを行います。

2) セッション 2 から 6

セッション 2・3 佐藤 優先生「ハンドリングセッション」として、セッション 1 の正確な内容理解と論点の抽出、解釈、議論を行います。課題図書に『灰色のユーモア—私の昭和史』、『学生を戦地へ送るには—一田辺元「悪魔の京大講義」を読む—』を取り上げます。また、セッション 3 では、後藤 琢也先生「原子力工学の視点から見た科学史」も織り交ぜます。

セッション 4 多久和 英樹先生「数学」セッションでは、複数の事前課題が課されます。参加者は、高校までの学習範囲の数学の理解度と、現在の自分の能力を確認します。

セッション 5 東畑 開人先生「現代における心の支援—ケアとセラピー」をテーマに、東畑先生のこれまでのご経験をもとに「ひとのこころ」について学び、討議を行います。

セッション 6 渡辺 政隆先生「進化生物学の視点から見た科学史」

セッション 2 から 6 までを通し、ひとつの事象であっても、別の観点、視点から捉えると全く別の見え方をすることを講義と演習から学びます。このように様々なテーマから幅広く学び、理解を深めることで、人

文・社会科学の「知」と自然科学の「知」の融合による「総合知」の獲得を目指します。
合宿中は、各テーマに関する講義を受け、質疑応答や確認の小テストを繰り返し行います。
また、グループワークや討議なども随所に織り交ぜ、より理解を深めます。

3) 合宿中の課題

合宿期間中は毎日課題が課されます。講師からの指示に沿って作成します。課題は、個人またはグループで取り組みます。講義を受け、内容をもとに自身がどのように捉えたか自身の考えを「限られた時間内で書く」訓練を繰り返します。レポートは当日中に事務局に提出し、講師陣がその理解度をチェックし返却します。塾生はフィードバックにより自身の理解をさらに深めます。

4) セッション7 グループ討議・成果の振り返り

3泊4日の合宿で得た成果を振り返ります。自分の考えを短時間で深く掘り下げ、発表します。そこから自分の考えや意図を正しく聞き手(相手)に伝えるには、何が必要なのか学びます。そして、他の塾生から得た刺激と気付きによって自身の考えを発展させるだけでなく、自身のこれまでの行動や状態を内省します。

5) セッション8 総括

講師から4日間の成果について講評を得て、合宿を振り返ります。塾生は学知の基礎をどのように獲得するか、具体的な学習方法と今後の目標を設定します。

6) 礼拝

日曜朝の心やすらかなひとときにキリスト教主義学校である同志社大学と創立者新島襄の精神に触れます。心を整え自分を見つめ直し、自分と向き合います。そして、自分が同志社大学で学ぶ意義をそれぞれが改めて考えます。

7) 合宿事前課題

1. 事前に配付する課題図書を精読すること。
2. セッション 4「数学」の事前課題に取り組み、提出すること。答案は、新島塾修了生のチューターが添削後、返却します。
3. (希望制) 佐藤先生が指定された課題図書2冊『灰色のユーモア—私の昭和史』、『学生を戦地へ送るには—一田辺元「悪魔の京大講義」を読む—』のレポートを提出すること。
提出されたレポートには、佐藤先生からフィードバックがあります。

※合宿の参加は、提出締切までに事前課題 2 または 3 を提出することが前提です。

「数学」の事前課題、レポートの作成要領、提出締切などの詳細は体験参加者に個別に案内します。

[募集人数]

10名を上限とします。応募者多数の場合、新島塾において抽選を行います。
結果は、応募者本人にメールで連絡します。

[募集期間] (再掲)

2022年7月8日(金)~7月25日(月)15:00まで

[応募方法]

Microsoft Forms に必要事項を入力してください。

<https://forms.office.com/r/4abtCAEvmM>



[タイムテーブル]

		12:00	13:00	14:30	16:30	18:00	19:00	22:00
9月2日 (金)	北小松駅まで各自移動 送迎バスでピストン輸送 京都駅 9:45 発→北小松駅 10:19 着 京都駅 10:44 発→北小松駅 11:19 着	集合・ 昼食		セッション【1】 植木塾長	対話 討議	セッション【2】 佐藤先生	夕食	課題A (提出期限 22 時)
9月3日 (土)	朝食		セッション【3】 佐藤先生・後藤先生	昼食	セッション【4】 多久和先生「数学」	夕食	課題B (提出期限 22 時)	
9月4日 (日)	朝食	7:30 8:30 8:45 9:30	セッション【5】 東畑先生「現代における心の支援ーケアとセラピー」	12:00 13:00 14:00 14:30 昼食	セッション【6】 渡辺先生「科学史」	18:00 19:00 夕食	課題C (提出期限 22 時)	
9月5日 (月)	朝食・ チェック アウト	7:30 9:00	セッション【7】 グループ討議 成果の振り返りと行動計画	12:00 13:00 昼食	セッション【8】 佐藤先生「総括」	15:00 会場 復元	リトリートセンターで解散後 北小松駅まで送迎バスでピストン輸送 北小松駅 16:25 発→京都駅 16:57 着 北小松駅 16:41 発→京都駅 17:31 着	

[備考]

- 参加費は無料です。ただし、自宅から JR 湖西線北小松駅までの往復交通費は参加者の負担とします。その他、北小松駅と同志社びわこリトリートセンター間の移動や、合宿中の宿泊、食事に要する費用は大学が負担します。また、北小松駅とびわこリトリートセンター間の移動は、安全面の配慮から全員シャトルバスを利用します。
- 宿泊を伴う 3泊 4日の合宿です。宿泊に必要な用具(着替え、洗面用具、バスタオル類)は各自持参してください。1日だけの参加や途中からの参加など、部分参加はできません。
- 「同志社大学新島塾 合宿で鍛える知的基礎体力」の様子は、写真ならびに動画撮影を行い、オフィシャル Web サイトや印刷物、公式 SNS などの媒体に掲載することがあります。
- 体験参加申込時に入力した個人情報(学生 ID・氏名・メールアドレス)は、新島塾が行う各種プログラムや塾生募集、今後の改善のためのアンケートやヒアリングなどの案内に利用し、目的外の利用はしません。なお、個人が特定されないよう統計処理した個人情報は、大学が調査資料として利用します。また、取得した個人情報は、同意を得ず第三者に提供しません。
- 合宿は、Zoom 等のオンライン環境では実施しません。
- 新島塾の修了生数名が、チューターとして参加予定です。
- その他必要な事項は、体験参加者に別途案内します。

[新型コロナウイルス感染症に関する対応]

- ・合宿中は、毎日の体温測定、会場の定期的な換気、密集を避ける座席配置など新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を取ります。
- ・発熱や倦怠感、のどの痛みなど通常と異なる身体症状がある場合、事務局に連絡し、欠席してください。決して無理に参加しないでください。
- ・合宿中に発熱などの体調不良者が出た場合、合宿を急遽中止することがあります。

問合せ先

同志社大学高等研究教育院事務局(同志社大学新島塾事務局)

電話:075-251-3259

メール:ji-njyuk@mail.doshisha.ac.jp

学びのかたちの新展開 Web サイト

<https://next.doshisha.ac.jp/>

